

カリフォルニア

州総選挙

2008年11月4日(火) ★ 有権者公式情報ガイド

アメリカ大統領選挙候補者の声明

カリフォルニア州州務長官は、アメリカ大統領選挙の候補者すべてに、250単語の候補者声明を有権者情報ガイドのウェブサイトへ提出する機会を与えた。

候補者名

政党

バラック・オバマ

民主党

ジョン・マケイン

共和党

アラン・L・キーズ

アメリカ独立党

シンシア・A・マッキニー

グリーン党

ボブ・バー

自由党

ラルフ・ネーダー

平和自由党

州総選挙

2008年11月4日(火) ★ 有権者公式情報ガイド

アメリカ大統領選挙候補者の声明

候補者名：バラック・オバマ

政党：民主党

郵送先住所：

Obama for America

3619 Motor Avenue

Los Angeles, CA 90034

電話：(310) 836-2009

Eメール：california@barackobama.com

URL：www.california.barackobama.com

これは決定的な瞬間です。我々の国家は戦争状態にあり、我々の地球は危険にさらされています。そして現在、あまりに多くの人々が、アメリカン・ドリームの実現性がますます薄くなっていると感じています。このような課題を抱え、アメリカ国民は今までになく私たち大統領選候補者の声に耳を傾けています。これは、アメリカ国民としての共通の目的を持った民主党派、無党派、そして共和党派による新たな多数派を形成するチャンスなのです。計算ではなく信念により先導された時、国家全体を共通の目的のため結集する先導者が存在した時、アメリカは常に全盛でありました。私が大統領選に出馬した理由は、そこにあるのです。特別利益団体に彼らが政策を策定する時代が終わったことを告げるため、私は大統領選に出馬したのです。企業に与えられている抜け穴を撤廃し、中流階級のアメリカ国民への減税を実施。超党派的解決策を策定し、手頃な価格の良質な医療保険制度を全国民に提供。また、再生可能なエネルギー源に投資し、輸入原油への依存に終止符を打つため、そしてすべてのアメリカ国民が、生まれてから大学を卒業するまで世界に通用する優れた教育を受けられるよう、私は大統領選に出馬したのです。私がこのイラク戦争を終結させ、兵士を帰還させ、アルカイダとの戦いをも終わらせ、アメリカ外交を生き返らせましょう。今日まで、人々をまとめ、難題を解決し、人々の生活に変化をもたらすことに人生を捧げてきました。1990年代に起きた戦争を繰り返すことも、ブルー・アメリカ

(2000年の大統領選で民主党に所属するゴア氏を選んだ州)とレッド・アメリカ

(2000年の大統領選で共和党に所属するブッシュ氏を選んだ州)が対抗することもしたくないのです。私は、アメリカ合衆国を導きたいのです。今ここで、可能であると知っていることを達成しましょう。

州総選挙

2008年11月4日(火) ★ 有権者公式情報ガイド

アメリカ大統領選挙候補者の声明

候補者名：ジョン・マケイン

政党：共和党

URL：www.johnmccain.com

戦時でも平時でも、私はアメリカ合衆国に献身的に仕えてきました。

国益、政党政治、または特別利益との間で重要な選択を迫られたとき、私は常に我が国を選びました。

改革、繁栄そして平和の新時代へと導き、これからも我が国を最優先し続けていく所存です。もし私が大統領に選ばれるなら、長年に渡り繰り広げられてきた選挙運動は終わりを告げ、問題解決の時代が幕を開けるのです。

衰弱しているワシントン州を、私は立て直すつもりです。皆さんが今まで政府に求めてきたことは、妨害ではなく、サポートです。国民を支援し、この経済を成長させ、雇用を増やし、アメリカを再び前進させましょう。ここアメリカ本土にて既存エネルギー源の使用が拡大すると共に、代替エネルギーの開発を積極的に推進させます。大統領として、アメリカの将来の世代へ、私たちの世代が受け継いだものより安全かつ平和な世界をもたらすつもりです。エネルギー安全保障を成し遂げることで、ならびに全国民にとって医療保険が手の届く金額で、利用可能となることを保証します。先導して安定的かつ恒久的平和の基礎を築くのは、地球上のどの国家よりも、アメリカに課せられた義務であります。いずれの党利党略または特別利益の前にも、アメリカの改革、繁栄そして平和を課題として優先させます。そして大統領在任中には、日々1時間たりとも怠らずこの約束を守りましょう。

州総選挙

2008年11月4日(火) ★ 有権者公式情報ガイド

アメリカ大統領選挙候補者の声明

候補者名：アラン・L・キーズ

政党：アメリカ独立党

郵送先住所：

17195 Silver Parkway, #337

Fenton, MI 48430

電話：(312) 848-1605

Eメール：contact@alankeyes.com

URL：www.alankeyes.com

アメリカ国民の主権は崩壊されつつあります。この危機に取り組むには、神は全ての人間に不可侵の権利を授けたという真実、ならびに生存権そのものを始めとする、道徳的主権を取り戻さなければなりません。よって、合法中絶の廃止やクローン人間作成の非合法化と同様に、受精後のあらゆる段階において生命の破壊を必要とする、いずれの形態の科学研究の禁止を支持します。

また、国境管理のための物的障壁や電子監視、米国国境警備隊など、あらゆる適切な手段を用いて物質的主権の完全性も取り戻さなければなりません。アメリカは、移民法を厳格に施行しなければなりません。国境を越えて低賃金労働力を惹き付け、アメリカ人労働者が熾烈な社会・政治闘争を通じて獲得した経済的衡平性を着々とむしばむ、企業派閥が建てた「皆歓迎」というサインを取り払うために。憲法上の主権を回復させるには、正式に選出された代表者によって制定された法律を適用する代わりに、断固として法律を左右しようとする司法官を弾劾し、権力の座から引き下ろすべきです。大統領に選出されたら、私はそんな司法官を当然指名することはありません。そして何より、独裁的な司法官の反対意見よりも、憲法に準拠するため誠実に大統領として宣誓した責務に基づき行動します。経済的主権を取り戻すには、連邦所得税を廃止し、憲法で保障された基本的権利を放棄または侵害する必要のない方法で連邦政府に資本を供給する、憲法上の税制に置き換えることに精力的に取り組む所存であります。

州総選挙

2008年11月4日(火) ★ 有権者公式情報ガイド

アメリカ大統領選挙候補者の声明

候補者名：シンシア・A・マッキニー

政党：グリーン党

郵送先住所：

P.O. Box 311759

Atlanta, GA 30031-1759

電話： (510) 281-9190

Eメール：cynthia@runcynthiarun.org

URL：www.runcynthiarun.org

シンシア・マッキニーは、米国議会議員として12年間務め、米国に限らず世界中の声なき人々のため、権力者たちに真実を語る勇敢な声であることを実証しました。マッキニーは、海外からの雇用を目的とする企業への連邦政府助成金を廃止；国家生活賃金の制定；軍事裁判法の廃止；国有林の保護ならびに再生；劣化ウラン弾の使用根絶；人権を侵害している法執行機関への連邦政府による支援を否認；2001年9月11日に起きた同時多発テロ事件の被害者に被害者補償基金への参加権利ならびに当該事件の責任者に対する被害者の訴権を授与し、ブッシュ大統領やチェイニー副大統領、ライス国務長官を弾劾する法案を作成しました。マッキニーの他の業績として、エージェント・オレンジ（枯葉剤）

の被害者への扶助金の給付期間を25年延長、少数民族農業従属者への米農務省による差別を立証する米農務省格差調査を承認、そして米国国防総省に良心的兵役拒否への対処方法についての調査実施の指示等が挙げられます。また、アメリカが無数に抱える問題に対し、根本的かつ常識的解決策を遂行します。マッキニーは、長期視野を持ち、私たちが過去に得たことのないものを得るため、過去に行ったことがないことに挑戦する意志を持つよう私たち全員に訴えています。この努力こそが、「人は理想のために立ちあがり、人類の幸福のために行動し、不正に対してこぶしを振りあげる。そのたびに、人は小さな希望のさざ波を送りだす。そのさざ波は、エネルギーと勇氣にあふれた他の無数の中心から生まれたさざ波と交差する。そのとき、これらのさざ波は一つの流れとなり、圧政と妨害の巨大な壁を押しながすであろう。」と昔ロバート・F・ケネディーが述べた言葉のシンシア流の証明方法なのです。

州総選挙

2008年11月4日(火) ★ 有権者公式情報ガイド

アメリカ大統領選挙候補者の声明

候補者名：ボブ・バー

政党：自由党

郵送先住所：

Barr 2008 Presidential Committee

P.O. Box 725007

Atlanta, GA 31139

電話：(678) 324-3240

Eメール：info@bobbarr2008.com

URL：www.bobbarr2008.com

輝かしい経歴を通じて、ボブ・バーは、自身こそがアメリカ国民の国家の将来への信頼を回復させるのにアメリカが必要とするリーダーであることを証明してきました。

ジョージア州下院議員としてアメリカ国民のために仕え、その後、市民的自由の保護を目的として組織されたグループと提携し、ボブ・バーは、政府の権限を縮小させ、代わりに国民が権限を取り戻すことへの貢献を示してきました。アメリカ国民は、今日抱える問題の答えが政府ではないことを知っています。ボブは、減税、政府支出の削減ならびにブッシュ政権中に失われた市民の自由の回復に精力的に取り組みます。政府の本質を内部からも外部からも観察してきたボブ・バーのみが、政府ではなく国民の利益を目的として国民に仕えるための資格と情熱を持ち、そして献身しているのです。憲法修正第2条の先導者としての役割を果たし議会を去って以来、ボブは、自由とプライバシーのための21世紀自由議長 (the 21st Century Liberties Chair for Freedom and Privacy)

として、ハーバード大学ケネディ行政大学院や、アメリカ保守同盟などの組織を通じて個人の自由の拡大に尽力してきました。

伝説的なニューヨークタイムズのコラムニスト、ウィリアム・サファイアは、ボブのアメリカ全国民のプライバシー保護と公民権擁護活動にちなんで、彼を「ミスター・プライバシー」と呼びました。アメリカ国民の権利を絶えず支援する1人の候補者がいるとすれば、それはまさしくボブ・バーです。

彼は、答えは政府規模の縮小と理解し、自身がアメリカを繁栄と自由の新時代へと導くのに必要な真の変化をもたらすことをすでに証明しています。

カリフォルニア

州総選挙

2008年11月4日(火) ★ 有権者公式情報ガイド

アメリカ大統領選挙候補者の声明

候補者名：ラルフ・ネーダー

政党：平和自由党

郵送先住所：

Nader for President 2008

3050 "K" St. NW

Washington, DC 20007

電話：(202) 471-5833

Eメール：未提供

URL：www.votener.org

無駄遣いや談合による政府の企業管理が、アメリカ一般市民から権限を奪い去りました。権限は、企業の前にニーズに応じられるべき市民に戻されなければなりません。私たちの選挙運動ならびに平和自由党は、すべての人々に、公的単一支払者医療保険、無料大学教育、街や学校の崩れかけたインフラの修理、雇用増加ならびに生活の質の向上を提案します。職を枯渇させるWTO（世界貿易機関）ならびにNAFTA（北米自由貿易協定）を撤廃し、最低賃金を大幅に増額させましょう。労働に課税する代わりに、汚染、ウォールストリート証券投機、過度な企業幹部の給料などに課税すべきです。最高\$50,000の給与税はすべて廃止。企業犯罪に対して断固たる措置を。

イラクとアフガニスタンから企業と軍を完全撤退させると共に過剰軍事予算を削減し、中東の真の平和を支援しましょう。選挙戦のための完全公的融資を支持し、政策のマナーコントロールを終わらせるべきです。投票者と候補者の権利を擁護するため、選挙日の祝日化、投票者登録日の全国統一化、そして各州の全政党のための公平な投票用紙へのアクセス法を。エネルギー危機を解決するには、化石燃料助成金を廃止すると共に、再生可能な風力ならびに太陽エネルギーに投資し、二酸化炭素税を適用させなければなりません。愛国者法や「麻薬撲滅キャンペーン」といった市民的自由に対する攻撃を終結させます。死刑も民営刑務所も廃止すべきです。自由社会においては、アメリカ全国民に対する社会的、法的、そして政治的に完全かつ平等の権利が確実に約束されているべきなのです。